



▲凛と張りつめた雰囲気の試合会場

今年の卒業式はまだ寒さが残る中での式でしたが、そのあと急に温かくなり、一挙に桜が開花しました。そのため、入学式のころには多くが葉桜となっていました。桜は散るときも美しいといわれますが、今年はどんな「桜風景」に出会えたのでしょうか。

◆3月31日に「東播少年剣道大会」が開催されました。これまで東播各地で毎年開催されている大会です。41回目の今回は播磨町が担当町となっていました。参加団体が多く大きな会場が必要となることから、高砂市の体育館をお借りしての開催となりました。剣道は技量のみならず、礼儀作法や精神力をも学ぶ、日本古来の素晴らしいスポーツです。剣道着に身を包んだ少年・少女剣士たちの立ち居振る舞いや試合態度も凛々しく、さわやかでした。多くの選手が参加しましたが、播磨町の選手たちも素晴らしい成績を残されました。選手宣誓した6年生の長山君も堂々とした立派な宣誓でした。選手の皆さんのご活躍と、播磨町少年剣道クラブのさらなるご発展をお祈りしています。

◆平成30年度が始まりました。4月2日には辞令交付を行い、今年は3名の一般行政職員と1名の幼稚園教諭が新たに播磨町職員となりました。各部署で住民の方々に接する機会が多い年度初めですが、志を持って播磨町職員となり、住民サービスに向き合おうとしている新人たちをどうぞよろしくお願いいたします。

◆新年度予算を発表しました。すべての世代に手厚い支援をというコンセプトのもと、きめ細かい対応ができる福祉施策も多く盛り込んだ予算となっています。子どもたちから高齢者まで、町中にある多くの笑顔が消えることのないように、やさしい支援の手がいつもそばにあるまちでありたいと思っています。

播磨町長 清水ひろ子

第6回ユニバーサルスポーツ交流大会

福祉グループ ☎079 (435) 2361

3月25日、総合体育館で開催したユニバーサルスポーツ交流大会には、約160人が参加しました。シッティングバレー、ポッチャ（どちらもパラリンピック公式種目）、フライングディスクの3種目や、パン食い競争で盛り上がりました。シッティングバレーでは、日本代表選手を含むシッティングバレーボール選手からの指導もありながら、中学生や高校生ボランティアなど、障がいの有無に関わらずチームを組み、いろいろな人とふれあいながら楽しみました。



野添北公園ビオトープにホタルの幼虫を放流

すこやか環境グループ ☎079 (435) 2721



3月18日、ホタルの幼虫を放流しました。放流に先立ち、水中を観察したところ、順調に育っている幼虫の姿が確認できました。これは、前年夏に産み落とされた卵から育った幼虫です。このビオトープは人工の水辺空間ですが、ホタルが自生できる環境が整っているといえます。今年も6月初めに飛翔するホタルを見ることができそうです。

楽屋裏
 ゴールデンウィーク初日の4月28日(出)は、はりま風薫るフェスタが大中遺跡公園とその周辺で開催されます。健康に関するブースやスポーツ、福祉、子育て、緑化などのほか多種にわたるテーマを盛り込んでいるため、さまざまな団体で多くの人がお手伝いをしてくださっています。
 私はカメラを持って会場をうろろして見ます。広報の腕章をつけた私を見つけたら、どんな声をかけてください。たくさんの方とお会いできることを楽しみにしています。
 (宮)

消防団員礼式訓練、ポンプ操法講習会を実施しました

危機管理グループ ☎079 (435) 0991

播磨町消防団は3月18日、望海公園球場で、礼式訓練とポンプ操法の講習会を実施しました。

女性分団員を含む消防団員100人は、播磨分署の署員から、礼式訓練として、号令・命令および指示の方法、挙手敬礼、隊列行進の方法などの指導を受けました。

また引き続き実施したポンプ操法講習では、毎年実施している町のポンプ操法大会に向け基本動作から指導を受けました。消防ポンプ操法は、火災現場などにおいて迅速かつ安全に行動するための基本となります。



山元町からの手紙

3月11日に東日本大震災7周年山元町追悼式が執り行われました。旧JR山下駅跡地の慰霊碑「大地の塔」の前で行われ、地震発生時刻の14時46分に参列者全員で黙とうを捧げました。

震災から7年が経ち復興も進んでいますが、震災の惨状や教訓を次の世代へ語り継いでいくことを、1年という短い期間でしたがチーム山元の一員として迎えていただいた私も、今後何かの形でお手伝いを続けられたらと思います。

藤原 洋介



※震災復興支援のため、平成29年4月から30年3月の1年間、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されていました。

平成29年度子どもいきいき体験隊閉講式

中央公民館 ☎079 (437) 6980

3月10日に「子どもいきいき体験隊」閉講式・発表会が開催されました。

平成14年度から継続している「子どもいきいき体験隊」は、小学生の子どもたちが休日や有意義に楽しく学習できるようにという目的で実施しています。29年度は231人が17教室に参加しました。人気のある教室は5倍の抽選となっていました。

この閉講式では、みんなで楽しく体験した1年間の作品の展示や発表を行い、マジックショーやインドヨガのステージでは他の教室に参加していた小学生や保護者から拍手があがりました。



わんぱくはりまっこ



にしむら 西村 3歳
 こはる 心春ちゃん 6カ月
 わかな 若菜ちゃん (古田)

仲よし姉妹に育ってね (パパ、ママより)

※撮影時の年齢です。